資料番号 9

令和6年5月17日 課 名 健康福祉局子供未来応援課 担当者 課長 南 内 線 3170

新生児・小児聴覚検査体制整備事業の実施状況について

1 要旨・目的

全ての聴覚障害児を早期に発見し、療育・教育支援につなげるため、令和5年度から新生児・小児聴 覚検査体制を拡充しており、その実施状況について報告する。

2 現状・背景

- 聴覚障害は、早期把握と適切な早期支援が行われることにより、聴覚障害による音声言語発達 等への影響が最小限に抑えられることから、各都道府県においては、検査の実施体制及び精度管 理体制、早期療育支援体制を整備する必要がある。
- 分娩取扱医療機関及び助産院等における聴覚検査機器の新規購入に対する補助制度を令和2年度に創設し、現在、県内ほぼ全ての分娩取扱医療機関等において、新生児聴覚スクリーニング検査ができる体制が整っている。
- 県内の精密検査機関が3施設しかなく、全て広島市内に集中していたことから、精密検査機関 を拡充するため、令和5年度から、二次聴力検査機関における精密検査機器の新規購入に対する 補助制度を創設した。
- 医療機関からの検査結果の迅速な把握や、精密検査未受診者に対する市町からの受診勧奨や保護者支援、二次・精密医療機関から療育・教育機関へのつなぎを確実かつ円滑に行えるよう、令和5年4月から、新生児・小児聴覚検査精度管理システム及び広島県新生児・小児聴覚検査フォローアップセンターの運用を開始した。

3 概要

(1) 事業内容

ア 新生児聴覚検査に係る検査体制の充実

分娩取扱施設における聴覚スクリーニング検査機器の新規購入・買い替えへの補助、二次聴力検査機関における精密検査機器の新規購入への補助を実施している。

(令和5年度実績)

- ・聴覚スクリーニング検査機器:新規購入2施設、買い替え8施設
- 精密検査機器:新規購入2施設(広島市、三次市)

イ 新生児・小児聴覚検査精度管理システムの運用

検査結果や精密検査受診状況等を関係機関で迅速に共有するため、システムを活用して要精 密検査となった児の把握等を行っている。

(令和5年度実績)

- ・システム登録児数(新生児聴覚スクリーニング検査で要精密検査となった児):84名
- ウ 新生児・小児聴覚検査フォローアップセンターの運用

システムを活用した関係機関に対するフォローアップや、新生児聴覚検査に係る保護者向け 普及啓発、市町担当者向けの研修等を実施している。

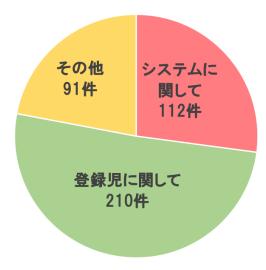
(令和5年度実績)

- ・相談対応件数:413件(グラフ1、2参照)
- ・保護者向けリーフレット及び関係者向けマニュアルの増刷・改訂
- ・関係機関向けシステム操作研修、市町保健師向け基礎研修、他県医師会向け講習会等

(グラフ1 相談対応件数の関係機関別内訳)



(グラフ2 相談内容別内訳)



(2) 予算

令和6年度当初予算 36,881千円 (一部国庫)

赤ちゃんの"耳のきこえ"の 検査を受けましょう

~新生児聴覚検査のご案内~

赤ちゃんは、生まれた時から、周囲の声や音をきくことでコミュニケーションを とるための準備を始めることができます。

"耳のきこえ"は、赤ちゃんのことばや心の成長にとても大切です。

生まれつき耳のきこえにくい赤ちゃんは1000人に1~2人いると言われています。

しかし、生まれてすぐに耳がきこえているかどうかを外見から判断することはできません。

そこで、早期に"耳のきこえ"を確認するために、「新生児聴覚検査」を受けることをおすすめします。

赤ちゃんの"きこえ"と"ことば"の 発達のめやす

2~3か月ごろ

- ①話しかけると、アーとかウーと声を出して喜ぶ(ニコニコ する)。
- ②ラジオやテレビの音などに顔(または眼)を向けることがある。

5~6か月ごろ

- ①父母や人の声など他人の声をききわける。
- ②話しかけたり歌をうたってあげるとじっと顔をみている。
- ③声をかけると意図的にさっと振り向く。

9か月ごろ

- ①外のいろいろな音(車、雨、飛行機など)に関心を示す。
- ②音楽や歌をうたってあげると手足を動かして喜ぶ。
- ③ちょっとした物音や、ちょっとでも変わった音がすると ハッと向く。

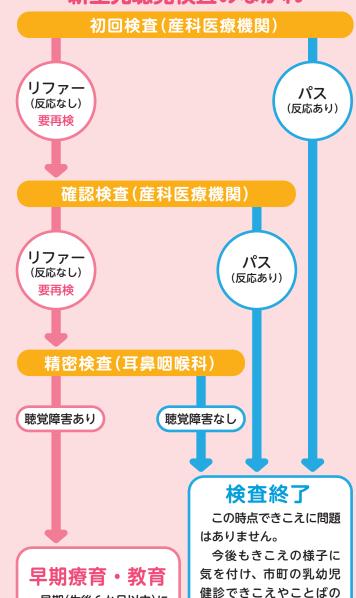
12~15か月ごろ

- ①となりの部屋で物音がすると、不思議がって耳を傾けたり、 あるいは合図して教える。
- ②目、耳、口、その他の身体部位をたずねると指をさす。

(一社)日本耳鼻咽喉科学会[新生児聴覚スクリーニングマニュアル]より

ことばの発達には個人差があります。気になるときは、かかりつけの医師や市町の保健センターにご相談ください。

新生児聴覚検査のながれ



発達のチェックを受けま

しょう。

早期(生後6か月以内)に

療育・教育を開始しましょう。

新生児の"耳のきこえ"に関する Q & 🗛

- Q1 検査は受けた方が良いのですか?
- A1 赤ちゃんの"耳のきこえ"は外見だけではわからず、判断できません。広島県ではすべての産科医療機関で赤ちゃんの新生児聴覚検査(初回検査)が受けられますので、ぜひ検査を受けましょう。検査を受けるための補助券は、市町から交付される母子健康手帳の別冊にありますので、ご確認ください。
- Q2 どのような検査ですか?
- A2 赤ちゃんが眠っているあいだに、小さな音を聞かせて脳の反応を測定する検査です。 検査は数分から10分間程度で安全に行うことができ、痛みや検査による副作用はありません。
- Q3 いつ検査をしたらよいのですか?
- A3 出生後、おおむね3日以内に出生した産科医療機関で行います。助産施設で分娩された場合も 検査は可能です。
- Q4 検査の結果が「パス(反応あり)」だったときは?
- A4 今回の検査ではきこえに問題はありません。 ただし、成長週程で中耳炎やおたふくかぜなどによって、きこえの問題がおきる場合もありますので、 今後もお子さんのきこえやことばの発達の様子に気を付け、市町の乳幼児健診等で確認を受けましょう。
- Q5 検査結果が「リファー(反応なし)」だったときは?
- A5 初回検査で「反応なし」の場合でも、必ずしもきこえの問題があるとは限りません。 生まれたばかりの赤ちゃんは、耳に羊水が残っているなどの原因により、検査にパスしないことがありますので、確認検査を受けましょう。

確認検査でも「反応なし」の場合には、精密検査機関での検査が必要です。産科から、専門の 耳鼻科へ紹介する体制ができています。

なお、難聴の原因となり得るウイルスの検査を生後3週間以内に実施することが推奨されています。検査のためにおしっこを少し取って検査に出し、ウイルスが見つかった場合には治療のために小児科を受診していただくことがあります。

療育・教育 機関

産科医療 機関



広島県では、耳が聞こえにくい可能性のあるお子さん、難聴と診断されたお子さんの健やかな発達をサポートする目的で、関係機関がクラウド上のデータベースに必要な情報を入力し、データを共有します。

精密検査 機関 (耳鼻咽喉科)

行政機関 (市町)



- ・新生児聴覚検査(確認検査)の結果がリファー(要再検)となったお子さんについて、関係機関が 速やかに情報共有し、精密検査機関を受診できるよう支援します。
- ・精密検査の結果、療育・教育が必要となったお子さんが、早期(生後6か月以内)に療育・ 教育を受けることができるよう支援します。
- ・お住まいの市町において、保護者の方からの様々なご相談に対応します。また、受診状況等を おたずねすることがあります。

赤ちゃんの"耳のきこえ"が心配な場合は、かかりつけの医師、またはお住まいの市町保健センターにご相談ください。











このパンフレットを手にとって くださった方へ

赤ちゃんの新生児聴覚検査(スクリーニング検査)の結果、「精密検査」が必要ということについて、大変ご心配のことと思います。

このパンフレットでは、保護者の方の 疑問にお答えし、今後の検査などについて ご紹介します。



広島県内で新生児の検査ができる 精密検査機関

医療機関一覧 ※診療科名は「耳鼻咽喉科」です。ただし、県立 広島病院を除く

二次聴力検査機関

二次聴力検査機関は限定的な検査を行う医療施設です。 二次聴力検査機関で診断が難しい場合は、精密聴力 検査機関に紹介します。

J R 広島病院

〒732-0057 広島市東区二葉の里3-1-36

広島市立北部医療センター安佐市民病院 〒731-0293 広島市安佐北区亀山南1-2-1

呉共済病院

〒737-8505 呉市西中央2-3-28

中国労災病院

〒737-0193 呉市広多賀谷1-5-1

県立広島大学附属診療センター 〒723-0053 三原市学園町1-1

JA尾道総合病院

〒722-8508 尾道市平原1-10-23

東川耳鼻咽喉科医院

〒720-0805 福山市御門町 3-2-8

東広島医療センター

〒739-0041 東広島市西条町寺家513

JA広島総合病院

〒738-8503 廿日市市地御前1-3-3

精密聴力検査機関

広島大学病院

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3

広島市立広島市民病院

〒730-8518 広島市中区基町7-33

県立広島病院小児感覚器科

〒734-8530 広島市南区宇品神田1-5-54

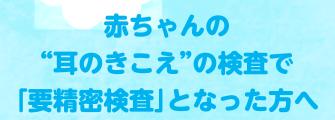
広島赤十字・原爆病院

〒730-8619 広島市中区千田町 1-9-6

市立三次中央病院

〒728-8502 三次市東酒屋町 10531

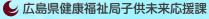
出典:一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 https://www.jibika.or.jp/





広島県新生児・小児聴覚検査フォローアップセンター (開設日 毎週月・木9:30~16:00 ※祝日と年末年始を除く) TEL:082-258-3512 MAIL:fu-mimikodomo@pref.hiroshima.jp

MAIL.Iu-IIIIIIIkouoiiio@prei.iiiiosiiiiia.j



TEL:082-513-3171 FAX:082-502-3674



A1 必ずしも難聴があることを意味しているわけではありません。

今回受けられた「新生児聴覚検査」(初回検査・確認検査)は、ささやき声程度の音で行われており、結果として「その音に脳の反応がなかった」ことを意味しています。

例えば、検査のときに赤ちゃんの体が動いたり、 耳の中に羊水などがたまっていたりして、それが 一時的にきこえや検査の反応を邪魔している こともあります。そのため、精密検査の結果、 明らかな難聴はみられず「経過観察」となることも あります。

新生児聴覚検査で「要精密検査」となることは 珍しくはありません。もし難聴があれば、「本当 にきこえにくいのか」「どれくらいきこえにくい のか」「何が原因できこえにくいのか」をできる だけ早く特定して、お子さんに合った治療や コミュニケーションの方法を検討し、必要に 応じて療育・教育につなげるために、専門の検査 機関で「精密検査」を受けましょう。

Q2 精密検査はいつ、どこで受けられ るのですか?

A2 精密検査を受ける時期は、産院を退院後にできるだけ早く(遅くとも生後1か月までに) 受けることをおすすめします。

検査を受けられる機関には、赤ちゃんでも正確に 聴力が測定できる設備をもつ耳鼻咽喉科など、 「二次聴力検査機関」と「精密聴力検査機関」があり、 県内の検査機関はこのパンフレットの裏面に掲載 しています。

「精密検査」には新生児聴覚検査を受けた産科医療機関からの紹介状や事前の予約が必要です。新生児 聴覚検査を受けた医療機関にご相談の上、「精密 検査」を受けてください。



Q3 精密検査で難聴という結果でなければ将来的に大丈夫ですか?

A3 現時点での耳のきこえは問題ないということですが、軽度の難聴の場合、すぐには難聴と診断されず、長期間の経過観察を要することもありますので、その後の受診の要否は、医療機関とよくご相談ください。

また、生まれたときには異常がなくても、 中耳炎やおたふくかぜなどの病気で難聴が 起こることや、成長とともに難聴が進む場合も あるため、今回の検査のほかに、1歳6か月児 健康診査や3歳児健康診査でも聴覚検査を 受けることが必要です。

今後も成長にあわせて「呼びかけに対する 反応が悪くないか」「テレビのボリュームを 大きくしていないか」など、お子さんのきこえに 関する行動を気にかけ、気になることがあれば、 かかりつけ医や市町の保健師へ相談してください。

36